

科目名		住宅計画演習			
担当教員		渡邊 晋太郎	実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	独立住宅を題材とし、設計の手法を学びます。 まずは一般論としての住宅計画の手法を整理し、次に、実際、各自でオリジナル住宅の計画を行いエスキスを完成させ住宅計画のノウハウを体得するところを目的とします。				
学習目標 (到達目標)	与条件から独力でエスキス、プランニングを完成させる知識定着を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	一般的な住宅プランとは（配置計画・外構・ゾーニング・動線計画・採光・構造計画等）		標準的な住宅プランを見ながら、各室のプランニング上のコツをつかむ。そして、そのプランを一つのパターンとして覚える。確認テスト：何も見ずにプランを用紙に描く		
2	オリジナル住宅エスキス①		簡単な住宅設計課題に挑戦。与条件から、次の手順でプランニングを進めます。①建物規模の算定 ②建物の配置 ③平面計画 エスキスを完成させ提出。		
3	オリジナル住宅エスキス②		エスキス①とは別パターンの課題に挑戦しましょう。		
4	発表・講評				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト、課題 70 %	発表 30 %	%	%	提出課題に加え、確認テストを実施し、その評価を加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって評価をする。日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。全ての建築物を設計する上で基本となる設計手法を学ぶ授業です。設計条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むと効果的です。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	意匠設計実務8年				